

地震・水害しっかり対策を

～総合防災訓練～

9月4日(日)、牧小学校で総合防災訓練が行われました。午前8時に避難訓練の放送があり、牧小学校に集まった住民は班に分かれて、各種訓練を行いました。

空き缶を活用した簡易コンロでお米を炊いたり、土のうを使って水の浸入をせき止める訓練などを行いました。その後、陸上自衛隊による情報偵察訓練・人命救助訓練や消防団員・女性防火クラブ員らによる消防機動演習が行われました。



▲大きなガレキを力を合わせて持ち上げる

災害時に大活躍

～西美濃農協が防災テント等寄贈～

9月1日(木)、西美濃農業協同組合から地域貢献・活性化の一環として町へ防災テント、発電機、ガソリン携行缶それぞれ2品を寄贈されました。

同組合の市川浩示代表理事専務は、「防災時だけでなく、普段からご活用いただくと嬉しいです。」と話されました。堀町長は「ありがとうございます。有事の際に備えるだけでなく、平時にもイベント等で活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。



▲ご寄贈いただきありがとうございます

9.12 豪雨災害を振り返り

～安全祈願祭、防災シンポジウム～

9月12日(月)、大森地内の治水観音像前で安全祈願祭が行われました。40年前、長良川が決壊した際に亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、町の安全を祈願するものです。

また、中央公民館では国土交通省木曾川上流河川事務所主催の『防災シンポジウム』が中央公民館で行われました。9.12 豪雨災害の映像の上映や被災体験談のほか、基調講演やパネルディスカッションが行われました。

9月には、町内の小中学校で災害体験者による特別講演が行われたほか、ハートピア安八の歴史民俗資料館を訪れ、当時の資料を見たり、お話を聞きました。



▲亡くなられた方のご冥福と町の安全を祈願



▲当時の災害体験談を聞きました(登龍中学校)



▲防災シンポジウムの様子